

## 特集：お米の収穫スタート！ 実りの秋到来



こちらにもアクセス!!

ホームページ

Facebook



JAみちのく村山「ふれあい」No.283 2018.10.10発行  
編集・発行/みちのく村山農業協同組合 山形県村山市堀岡北町一丁目1番1号 TEL0297-55-6311(代) FAX0297-55-5825

JAみちのく村山ホームページ <http://www.mitnoku.or.jp>

写真・著者・不肖の類はお取替えいたします。  
再生紙を使用しています。

印刷・製本/街印刷文化堂



茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」オーナーシェフ  
永井智一(ながい・ともかず)



※「しょってんレシピ」は、今月はお休みです。

### 朝ごはんの献立

- ナガイモのグラタン **レシピ1**
- ナガイモのかき揚げ **レシピ2**
- ガーリックトースト
- 野菜スープ
- グリーンサラダ

### レシピ1

#### ナガイモのグラタン

材 料(1人分)

- ナガイモ……………100g
- ジャガイモ……………1/2個  
(写真撮影用に紫のジャガイモ「シャドーQueen」を使用)
- CHEDDARチーズ……………1枚
- 生クリーム……………1/2カップ
- 牛乳……………1/2カップ
- からスープのもと…小さじ1
- 塩、こしょう……………適宜
- 刻んだパセリ……………少々
- バター……………適宜

作り方

- (1)ナガイモの半分はすりおろし、半分は短冊に切る。ジャガイモは火を通して一口大に切る。
- (2)フライパンにバターをひき、短冊ナガイモとジャガイモをソテーし牛乳と生クリーム、からスープのもとを入れ、塩、こしょうで味を調える。
- (3)グラタン皿に短冊ナガイモとジャガイモを取り出した(2)を入れ、すりおろしたナガイモを上から掛けCHEDDARチーズを載せ、短冊ナガイモとジャガイモを並べ、トースターなどで焼き出来上がり。仕上げにパセリや粉チーズ(材料外)を散らす。

### レシピ2

#### ナガイモのかき揚げ

材 料(1人分)

- ナガイモ……………30g
- アボカド……………1/2個
- ニンジンの葉……………適宜
- 小麦粉……………適宜
- 天ぷら粉……………適宜
- サラダ油など……………適宜
- 塩……………少々

作り方

- (1)ナガイモを短冊に、アボカドはさいころ状に切る。
- (2)ボウルに(1)とニンジンの葉を入れ、小麦粉を軽くまぶす。
- (3)水で溶いた天ぷら粉1/2カップほどで、(2)を軽く混ぜ合わせ一口大にまとめ、170度に熱した油で返しながらじっくりと揚げる。盛り付けたら塩を振る。付け合わせにミニトマト(材料外)などを添える。

## 「前進」のあしあと

「JAみちのく村山「直」改革」の歴史

平成7年、

### 「みちのく村山農協青年部」スタート

平成7年4月7日にJAみちのく村山青年部設立総会が開かれ、旧JA単位の三つの青年部の統合が決定しました。「みちのく村山農協青年部」の誕生です。同年4月1日にはJAみちのく村山が合併誕生したばかりで、その後のさまざまな組織統合の第一号にあたるものでした。青年部のまとまりの強さを示すかのような、スピーディな統合でした。



平成7年4月7日に開かれた青年部設立総会。画面の奥には、旧JAの三つの青年部の旗が並んでいます

さまざまな活動に参加。近年は、農政の大きな変動を受けて、結束を深めるための交流会や農業とJAについて学ぶための勉強会も開いています。「盟友」と呼ばれる青年部員たちは、一人ひとりが地域農業をけん引する若い力。その力をもって地域・農業・JAをつなぐ青年部は、気力溢れる担い手たちの活躍の場でもあります。

同部はその後、大消費地・東京での農産物の宣伝販売や、小学校の農作業体験学習での作業の指導などを行ってきました。また地域農業を広くPRするため野立て看板作りや、T P P 反対を呼びかける農政運動など、

# ふれあい

## もくじ

- 16 ■ 今月の朝ご飯  
／前進のあしあと
- 14 ■ お知らせ掲示板
- 12 ■ みちのくぼいす  
／クロスワードパズル
- 11 ■ あつまれ！ふれあい広場
- 10 ■ 平成30年産さくらんぼの作柄と  
来年に向けた対応  
(北村山農業技術普及課)
- 6 ■ ニューズ展望台
- 4 ■ お米の収穫スタート！  
実りの秋到来
- 3 ■ 種まく人々
- 2 ■ すくすくふれあい家族  
／理事会だより

地域農業を支える生産部会をご紹介します！

## 大石田籾乾燥調製施設利用組合

当JA管内4カ所に建てられている「籾乾燥調製施設」通称カントリーエレベーターは、収穫したお米の乾燥・調製・貯蔵を行う施設です。今回は、大石田町の施設利用組合の組合長である海藤さんに、組織の現況と課題をお聞きしました。



(写真は10月2日、荷受中の大石田カントリーエレベーター)



## すくすくふれあい家族



村山市楯岡笛田

- 井上 勝さん (70歳)
- 恵一さん (40歳)
- 純子さん (41歳)
- 心葉さん (2歳)
- ペー子さん (猫・21歳)



よくおしゃべりをするようになった心葉さん。「アンパンマン」に始まり、保育園で「新幹線」などの難しい単語を覚えてきたりでご家族もびっくりです。お母さんの本の読み聞かせも、言葉を学ぶ貴重な機会。家ではお父さんとお絵かきを楽しんだり、おじいちゃんの勝さんのミニトマト収穫を手伝ったりします。触られても嫌がらない猫のペー子さんは今年21歳で、長寿の風格を備えた大切な家族です。

7月にはディズニーランドに行ったという井上さん一家。マラソンが趣味の恵一さんと純子さんですが「子育てが始まってからは運動不足気味です」とのこと。走る時間のかわりに増えているのは、家族の楽しい思い出ですね。

## 理事会だより

第7回理事会が9月21日に開催。  
主な議案と内容は次のとおりです。

- 第1号 平成30年産米取扱い方針について
- 第2号 平成30年度賦課金の徴収額、徴収時期及び徴収方法について
- 第3号 利益相反取引の承認について
- 第4号 大口貸出の承認について
- 第5号 農林中央金庫の預金施設見直しに伴う利用率の選択について

### 【報告事項】

- ・経過報告および行事予定について
- ・主要勘定・安全性の指標について

- ・JAの自己改革に関する組合員調査の試行調査結果について
- ・平成30年度決算監事監査実施要領について
- ・内部監査報告(受託組織会計)について
- ・平成29年産米(JA米・一般米)仮精算の実施について
- ・平成30年度大玉すいか販売実績について
- ・企画旅行について
- ・JA貯金「夏キャンペーン2018」の実績について
- ・平成30年度「新規就農応援事業」について
- ・平成30年度コンプライアンス点検結果及び改善方針の概要について
- ・傷害共済集団契約推進について



組合長  
大石田町次年子  
海藤 義則 さん(60歳)

平成26年に組合長として就任。地域農業に深く関わり「いち農家」としても幅広く活動中です。「いつの間にか、川の監視員まで任されていました(笑)。魚釣りは好きなんですけどね、なかなか時間がありません」。

組織の現況は？  
現在、大石田カントリーエレベーター(以下CE)では、五品種に絞って米を受け入れています。前はもつと品種が多かったため、作業はやりやすくなりました。中でも「つや姫」の栽培が始まってからは、CEの利用率も向上しています。

現在の課題は？  
利用率が上がっている一方で、米の貯蔵タンクにも限界があることから、全ての品種を受け入れるのが難しくなってきました。よって品種によっては荷受けを制限せざるを得ない状況です。組合員(CE利用者)の視点で考えれば、本当は荷受け制限などせず、希望する品種をいつでも受け入れられるのが理想なのですが、今のところは、各地区の役員のおかけもあって、理解を得ながら作業を進められています。

大切にしていることは？  
利用組合としては、できるだけ組合員が使いやすい施設・体制が理想。そのため、これまでも乾燥機の機能強化などの工夫をしてきました。

今後の展望は？  
今後は雪若丸の荷受けも進むでしょう。他品種から雪若丸に切り替えた農家からの荷受けが増える場合、それにどう対応するかは、村山や尾花沢のCEでも同様に抱える課題だと思っています。利用率の向上はもちろん喜ばしいですが、考えなければならぬことも増えますね。これからは、より使いやすい施設と体制づくりに力を入れていきます。

活動内容は？  
年に一度、米づくりの先進地や肥料メーカーなどに視察に行きます。一人の農家としても勉強になりますね。そこで学んだことは、良食味米・高品位米の生産のために活用します。こうした活動のおかげで、CEで貯蔵した大石田産のはえぬきやつや姫は、県のコンテストでも上位入賞を果たしています。

# 小学生が稲刈りを体験



**9/14 玉野小学校**  
尾花沢市立玉野小学校の3～6年生45人による稲刈り体験です。当JAの尾花沢青年部に鎌の使い方などを教わり、5月に植えたヒメノモチを刈り取り。リヤカーで運んで「はせ掛け」にしました。11月には、収穫祭で餅をついて味わいます。

## 9/19 大石田北小学校

大石田町立大石田北小学校の5年生19人が、当JAの大石田地区青年部の指導を受けながらお米の収穫にチャレンジしました。5月に植えた「はえぬき」を刈り取って終了、受け取った青年部員が「杭掛け」にしました。11月には収穫祭が行われます。



## 9/20 楯岡小学校

村山市立楯岡小学校の5年生約90人が、「はえぬき」の刈り取りを体験。2人1組になって、当JAの村山地区青年部楯岡支部に教わりながら作業を行いました。刈った稲は、青年部員によって「杭掛け」で天日干しに。11月の収穫祭が楽しみです。



▲笑顔もさつまいももいっぱい！

**おいもさん採れたよ！ 収穫体験**  
9月26日、尾花沢市によつば保育園の年長組「すいか組」の園児が、さつまいもの収穫体験を行いました。5月に当JAの尾花沢地区女性部の指導を受けながら定植したもので、園児たちは、採れたイモの大きさに驚きの声をあげていました。採れたイモは総重量140キログラム、焼き芋などで味わう予定です。

# お米の収穫スタート！ 実りの秋到来

特集

当JA管内の、平成30年産米の収穫作業が始まりました。9月21日、大石田営農センター管内の大石田、横山、豊田地区での作業を皮切りに、米の検査と買入れがスタート。各地区の米倉庫では、初検査に合わせて「蔵開き」の儀式が執り行われ、関係者が今年の豊作と作業の安全を祈願しました。管内に4カ所あるカントリーエレベーター（粃乾燥調製貯蔵施設）も順調に稼働し、尾花沢が9月13日から、大石田が16日から、村山中央と大高根が17日から荷受けを開始しました。



▲カントリーエレベーター稼働前の安全祈願(17日、村山中央)



▲検査員による買入れ検査(27日、海谷地区)



▲買入れの作業がスタート(25日、戸沢地区)



▲進む荷受け作業(10月3日、尾花沢カントリーエレベーター)



▲吉村美栄子山形県知事とともに県産品をPRする折原組合長(左端)

**ハワイで「つや姫」をPR**  
9月15～19日の5日間、JA全農山形は、「つや姫」のトップセールスと販売店の視察を目的に、米国ハワイ州を訪問。当JAの折原敬一組合長も運営委員会副会長として同行しました。一行は首都ホノルル市内で開かれた山形フェアに参加して、つや姫などの県産品をPR。販売プロモーション活動も行われました。県産米の輸出量は年々増えており、当地でのつや姫の評価も上々。今後は、他産地米との競争をいかに乗り切るかが課題です。

▶募金は、ゴルフ愛好会の有路好彦会長(右)から、公益財団法人「山新放送愛の事業団」を通して被災地へ送られました

### ゴルフコンペ開催、復興支援チャリティも

9月4日、当JAのふれあいゴルフ愛好会は、22回目となる「ふれあいゴルフコンペ」を開催しました。村山市のさくらんぼカントリークラブで125人がプレーし、矢作長雄さん(大石田支店)が優勝しました。あわせて、夏に発生した西日本豪雨災害への復興支援として、チャリティ募金も行われました。

ふれあいゴルフチャリティコンペ  
募金総額 112,600円



### 組合長杯グラウンド・ゴルフ大会、上位者県大会へ

9月10日、当JAの年金友の会は、尾花沢市の花笠グラウンド・ゴルフ場で「第17回JAみちのく村山組合長杯グラウンド・ゴルフ大会」を開きました。地区予選を勝ち抜いた112人が参加し、大石田支店代表の青木孝次さんが37打のスコアで優勝しました。当大会の上位20名は、10月2日(火)の県大会へ出場しました。



おめでとうございます！  
上位20位に入賞の皆さん



△優勝旗を手にする加藤浩幸監督(中央)とチームメンバー。折原敬一組合長(右)と三浦康彦専務(左)と共に記念撮影

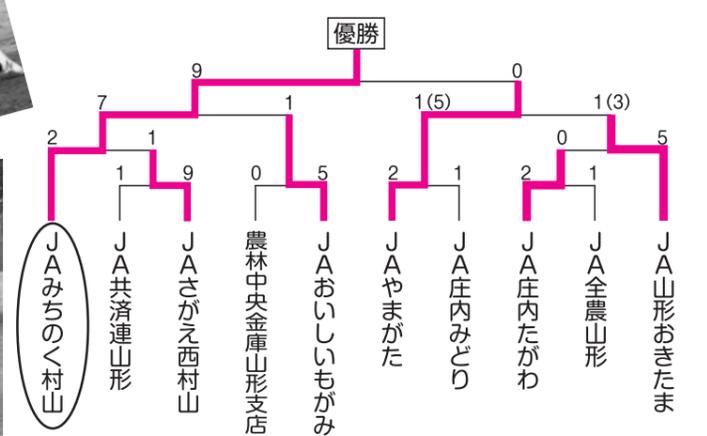
### 快進撃！「みちのくナイン」 栄冠を勝ち取る

広域合併JA対抗の交流親善野球大会が、9月7日に当JA管内で開かれました。試合はトーナメント形式で行われ、JAみちのく村山チームが見事優勝を果たしました。同チームは、6~7月に行われたモーニング野球尾花沢大会(主催・山形新聞)でも優勝しており、10月に開かれる「第44回山形県実業人野球大会」への出場切符を手に入れています。「みちのくナイン」の快進撃に乞うご期待！



最後までピッチャーを務めた大江海都さん。今年の最優秀選手賞も受賞しました

第23回広域合併JA野球大会トーナメント結果



▶機敏な動作で給油する菅野さん



▶ワイパーを点検する富塚さん

JA-ISSのコンテストに出場  
9月11日、JA全農山形最上地区センターで「平成30年度JA-ISSカーライフサポートコンテスト」が開かれました。JA給油所の接客レベルの向上を目的に行われたもので、当JAの子会社である(株)みちのくサービスからは、菅野陽祐さん(尾花沢中央給油所勤務)と富塚和也さん(暮点給油所勤務)が出場。マニュアルに基づく接客サービスを、県内他JA給油所の出場者との技術を競い合いました。



▲来店者でにぎわう店内

### 産直「つなぎ」6周年目の売り出し

9月15・16日の2日間、大石田農産物直売所「つなぎ」で売り出しが行われました。平成24年の9月にオープンした「つなぎ」は、今年で6周年目。売り出しでは里芋や食用菊、かぼちゃなどの旬の野菜を販売しました。先着50名様限定でプレゼントも用意しました。



▲作業中のJA職員。作業中は埃などに注意します

### 村山地区で廃プラを回収

9月11～14日の4日間、村山市で農業用廃プラスチックの回収が行われました。当JA村山経済事業所の職員と、村山市職員が作業にあたりました。回収場所である楯岡向原緑地公園には農家のトラックが並び、積み荷の廃プラが回収車へと送り込まれていきました。



▲会食は焼肉で



▲青年部の小内正美委員長(右)と、JAの三浦康彦専務(左)が意見交換

### 青年部盟友が交流会開催

9月3日、青年部盟友に親睦を深めてもらおうと交流会が開かれました。毎年この時期に行われており、今年も当JAの本店の敷地内に、管内3地区の青年部盟友約50人が集合。会食を通して意見交換を行いました。



▶青年部盟友である加賀正和・県議会議員(左)も参加



▲そば職人による「茹でたて」をどうぞ



▶そばを味わう親子連れ

▶女性部の出店も人気

**名物イベント「そば花まつり」開催**  
9月9日、村山市で「そば花まつり」が開かれました。今回で21回目です。村山産のそば品種「でわかおり」の味わいと、真っ白なそば花畑の風景を堪能できる名物イベント。当JAの村山地区女性部大高根支部も出店し、焼鳥やかき氷、団子などを販売しました。

### 「テラーコンクール」に藤橋さん出場

9月21日、天童市で「2018 JAバンク山形県推進担当者交流大会」が開かれました。この中で、信用窓口担当者(テラー)のスキルアップを目的としたテラーコンクールが行われ、県内JAから各1名ずつ出場しました。当JAからは楯岡支店貯金課の藤橋優衣さんが出場。お客様との電話によるやり取りを実演し、そのテクニックを競いました。



各支店から応援も!



▲出場した藤橋さん(左)。ステージ上で、お客様役(右)への電話対応を実演しました



▲資料を読み込むすいか生産者(左)と市場の販売担当者(右)▲

### 今年のすいか実績を振り返る

9月12日、JAみちのく村山すいか生産部会は、JA本店で今年度の販売求評会を開きました。重点取引市場の販売担当者とすいか生産者が一堂に会して、今夏のすいかの生産・販売の実績を振り返りました。加藤元和部会長は「今年は高温と大雨で、すいかも生産者もバテた。だがキロ単価は200円以上と、来年につながる結果になった」とあいさつ。折原敬一組合長は「シーズン後半の出荷量を伸ばすための体制を考える必要がある」と話しました。



▲あいさつする加藤部会長



▲長峯支店長(左端)の話聞く児童

**小学生が葉山支店を「探検」**  
9月28日、村山市立戸沢小学校の2年生が、自分たちの住んでいる地域の施設や店舗を訪問・見学する「地区たんけん」の授業を行いました。生活科の授業の一環として実施されたもの。20名が4つのグループに分かれ、地域の神社や公共施設を巡り、商業施設では店員から話を聞くなどしました。当JAの葉山支店にも2グループが訪れ、長峯支店支店長に「どんな商品売っているのか」「働いている人は何人いるのか」などの質問をしていました。

大石田町横山(上宿)  
熊谷 克己 さん(69歳)



約50年間、大工さんとして働いてきた熊谷さん。その腕を活かして三重塔や五重塔の模型を作り始めたのは2年前のことで、「もともと社寺仏閣や楼門、鐘楼など木肌の見える建物が好きでした」と話します。大工さんでも、退職後に木工の趣味を持つ人はまれだそうで「私は変わり者だから」とのこと。

さっそく専門書を購入し、本物の建物を下敷きにして設計図を作成。材料も買いそろえました。「こういう工作に普通の木材は不向き。加工しやすい材料が安価で手に入る時代で助かりました」。

実物の形を再現したパーツは、限界までサイズを縮小。それらのパーツを組み立てて、まずは10日間かけて三重塔を完成させました。しかしそれは熊谷さんいわく「お粗末な出来」。満足のいく完成品を求め、細部にこだわって作り続けるうちに作製期間も長期化し、6つめの五重塔は完成まで4カ月に及びました。

「求めているのは“美しさ”。一度完成したのもさらにレベルアップさせていきたい」と、熊谷さんはさらなる改良に意欲を燃やします。「今後は、同じような趣味の方と交流する機会もあるといいですね」。

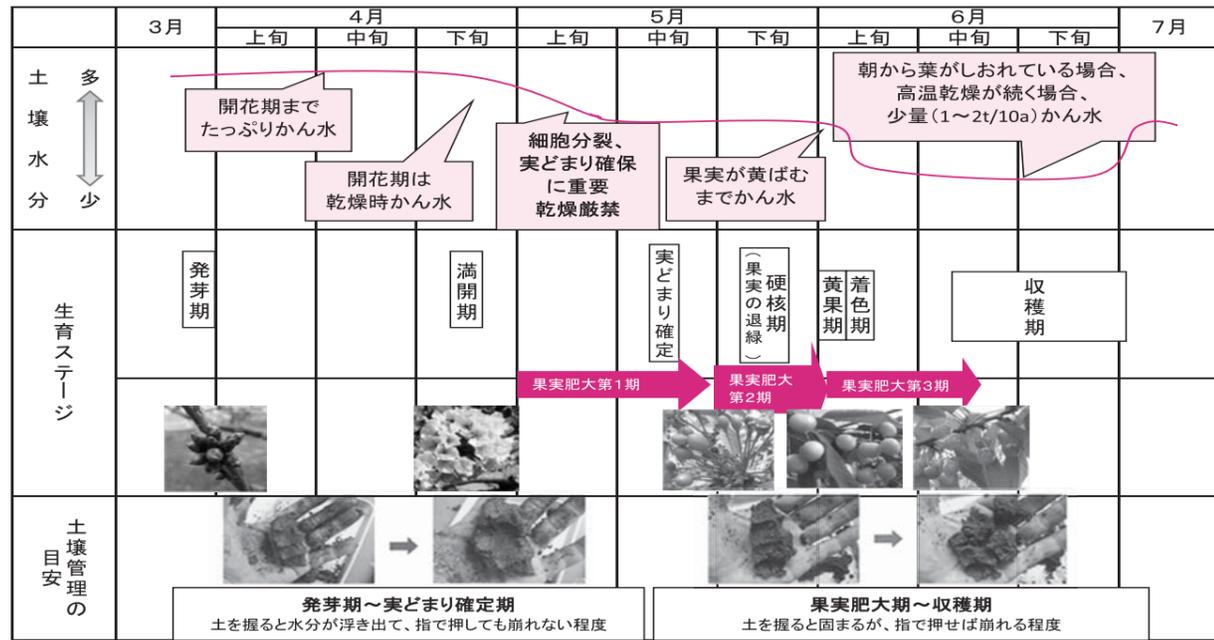


図3 土壌水分管理の目安

例(枝先から伸びた2〜3本の新梢を1本に整理する)が多くなります。こうすると、枝が少なくなるため一見明るく見えますが、残った1本の新梢に養分の流れが集中するため新梢停止が遅れ、かえって着色開始が遅れます。

摘心の目的は、混みや樹冠内部の環境改善です。摘心は、主枝の半分より基部の枝で行い、枝先までは行わないようにします。

**3. 病害虫の発生防止**  
さくらんぼの最大の病害は、灰星病です。開花期の天候不順により、開花が長引く場合は、満開期頃に殺菌剤を追加散布して、灰星病や幼果菌核病の予防に努めてください。また、ポリネーション撤去後は速やかに殺菌剤を散布し、カメムシ類の被害を防止しましょう。

今年は、収穫後に高温・乾燥が続いたため、ハダニ類が多発しました。収穫後も、作業の合間に園地を確認し、早期発見に努めてください。殺ダニ剤抵抗性防止のため、各系統の薬剤の年間での使用回数は、1回とします。通常の殺ダニ剤を散布してもダニの発生が収まらない場合は、気門封鎖する殺ダニ剤の使用も有効です。

病害虫防除の基本は、早期に発見し、早期に対応することです。作業時は、果実や葉の状態をきちんと確認し、早期発見に努めましょう。

北村山農業技術普及課

表1 降水量および日照時間の経過(村山アメダス)

		4月			5月			6月			7月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
降水量	H30(mm)	39	13	11	27	83	3	1	9	64	30	11	1
	平年比(%)	283	63	42	221	423	11	2	32	149	59	18	1
日照時間	H30(時間)	46	53	69	31	55	87	71	42	66	53	54	95
	平年比(%)	82	101	118	48	104	135	108	73	140	127	144	165

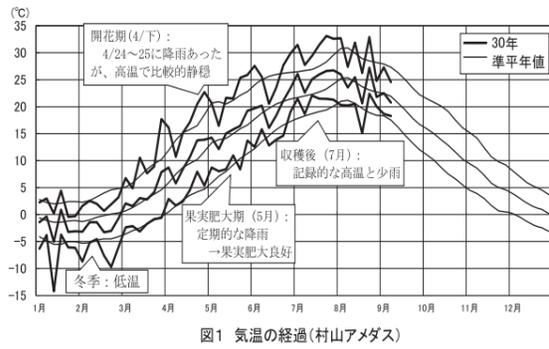


図1 気温の経過(村山アメダス)

**1. 地域により結果にばらつき**  
本年は、厳冬だったため、凍害による小花の枯死の発生が心配されましたが、被害は軽微でしたが、4月に降霜がありました。また、4月に降霜がほとんどありませんでした。

「佐藤錦」の開花期は4月20日〜30日頃で、前年より5日程度早まりました。開花期中の4月24日〜25日は雨天で、26日も強風でした。生育の早い村山市南部や、逆に生育の遅い村山市北部及び中山間部と大石田町、尾花沢市は、これらの日の前後に開花したため、結実が良好で着果が多くなりました。一方、4月24日〜26日に5〜8分咲きだったほかの地域では、下枝の着果が少なかつたものの、まずの着果量でした。

**2. 果実肥大は良好、着色し始めは遅れたものの仕上がりは十分**  
開花前から5月まで定期的な降雨があり、十分な土壌水分があったことから花が大きく、果実肥大は非常に良好でした。一方、降雨が多かつたことで新梢伸長が旺盛となり、新梢停止が遅れたため着色の始まりがやや遅れました。その後6月の気温が高くなり過ぎず、日照時間が十分にあったため回復し、収穫期には十分な着色となりました。早期から計画的に出荷され、品質が良好な7月初旬に収穫が終了しました。

**3. 病害虫の発生が課題**  
開花期に降雨があったこと、

気象の特徴

本年は、厳冬だったため、凍害による小花の枯死の発生が心配されましたが、被害は軽微でしたが、4月に降霜がありました。また、4月に降霜がほとんどありませんでした。

また長引いたことから、灰星病や幼果菌核病の発生が平年より多くみられました。また、中山間部を中心にカメムシ類による吸汁と思われる果実のくぼみが見られたほか、ハダニ類の発生が早く、収穫後高温乾燥が続いたため多発しました。

**来年の生産に向けて**  
今年は、生育期間中の定期的な降雨により果実肥大や新梢の発生・伸長が旺盛だった反面、着色開始の遅れや病害虫の発生が課題となりました。今年の反省を是非来年の生産に活かしましょう。

**1. 土壌水分管理**  
今年の果実肥大が良かった最大の要因は、果実肥大に十分な土壌水分があったためと考えられます。

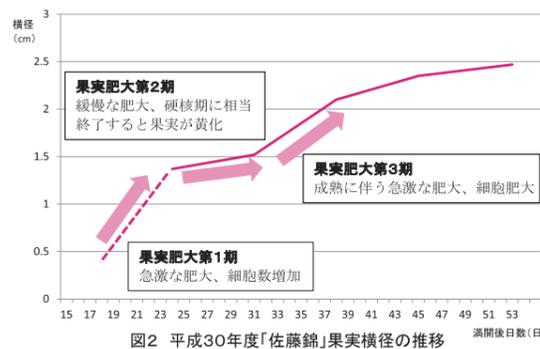


図2 平成30年度「佐藤錦」果実横径の推移

果実肥大第1期は、細胞分裂して、すなわち細胞の数が増えて果実が大きくなる時期です。一方、果実肥大第3期は、細胞に養水分が蓄えられたため細胞が大きくなることで果実が大きくなる時期です。果実肥大第1期にたくさん細胞分裂して果実の細胞数が増えれば、細胞が大きくなる果実肥大第3期に大きくなる可能性があります。落花から満開3週間後程度までは、実どまり確保にもつながるので、乾燥する場合は十分にかん水しましょう(図3)。

**2. 枝先まで摘心しない**  
新梢の伸長停止後、果実の着色が始まります。満開6週間後頃に新梢が停止すれば、着色が順調に進み単価が高い早期の出荷が可能です。

着色管理の一環として摘心を切りますが、枝先まで新梢を切

図2は、今年のさくらんぼの横径の肥大状況(園芸試験場調査データ)を基に作成です。さくらんぼの肥大は、S字カーブを描くことが知られており、開花後の急激な肥大を「果実肥大第1期」、その後肥大が緩慢となる時期を「果実肥大第2期」、そして成熟期に向かった急激な肥大を「果実肥大第3期」と呼びます。

果実肥大第1期は、細胞分裂して、すなわち細胞の数が増えて果実が大きくなる時期です。一方、果実肥大第3期は、細胞に養水分が蓄えられたため細胞が大きくなることで果実が大きくなる時期です。果実肥大第1期にたくさん細胞分裂して果実の細胞数が増えれば、細胞が大きくなる果実肥大第3期に大きくなる可能性があります。落花から満開3週間後程度までは、実どまり確保にもつながるので、乾燥する場合は十分にかん水しましょう(図3)。





今回のテーマ

「お餅の食べ方・思い出し」



娘が2人います。40年前ですが、「たつたらお餅」でお祝いをしました。それぞれ転んでは立ち、の繰り返し。よたよた3・4歩あるき、周りのみんなは大拍手。最後に2人とも大泣きしました。  
(大石田町76歳)

☆40年前の娘さんたちに拍手！  
何と言っても、納豆餅にたつぷりの「ニンニク」これがたまらぬ！  
(村山市 まるものじいさん)  
☆餅とニンニクで精がつきそう。

四角に切った餅を炭火で焼いて、砂糖醤油をつけて食べた小さい頃の光景が目につかびます。当時は、亡き母もまだ若く、幸せだったなあと懐かしさがこみ上げます。  
(村山市 若木良い子さん)

河北町に住んでいる私の知人は、大皿に盛られた納豆餅をペロツと食べます。食べるというよりは飲み込むという感じ。大根のおろし汁がポイントで、のど越しが良くなること。さすが餅のみこみサークルの人と感心するばかりです。絶対まねしないで下さい。  
(村山市 今年こそJー昇格モンテさん)

若い頃は毎月一回は餅をまいて休日としたが、今は正月くらいでほとんど食べていない。  
(村山市 90歳農業)

☆今年こそJー昇格モンテさん  
今も雑煮餅はありますが、子供の頃は雑煮の中にサバ缶を入れました。今の若い人は食べないので、雑煮を作ると自分の分だけ取り、サバ缶を入れて食べることも。子供の頃に戻りたい！  
(大石田町 ラックさん)  
☆サバ缶は珍しいかも！

岡山県から嫁いできた息子のお嫁さんへの最初の質問は「あなた、納豆食べられる？」でした。その答えは、「納豆って、甘納豆？」。今では、家族の食卓に「納豆餅」が出ると、お嫁さんも美味しそうに食べています。やっぱり、王道は「大根おろしと納豆餅」でしょう。  
(村山市 ススキおじさん)  
☆山形ならではのトッピング。

子供の頃は、火鉢の五徳に金網を載せて餅を焼きました。プーと膨らみ、フシューと水蒸気を出して破裂するのを見るのが楽しみでした。  
(尾花沢市 おたまじゃくしさん)  
☆電子レンジよりも面白いですね。

わが家はみんなお餅大好きなので、切り餅を冷凍しています。冬は、油揚げの中に入れて巾着にしておなべに入れて食べています。9月号の伝統料理レシピの「ミニおはぎ」、参考に作ってみます。  
(大石田町 こにゃんさん)  
☆餅とおはぎ、お腹いっぱいめしあがれ。

お餅はやっぱり白で！！白の餅を、きな粉でまぶすのが美味しいです！！  
(尾花沢市 32歳会社員)

小学生の頃、保護者と一緒に全員が集まって、餅つき大会が行われました。みんなで食べる餅はおいしかった。  
(村山市 大黒Pさん)

小学生の頃、建前の餅拾いに行きました。多く拾おうと頑張りましたが、ばあちゃんたちの迫力にいつも負けていました…。  
(大石田町 まだ日焼け中さん)

母が作ってくれた揚げ餅。残った餅を4ミリくらいに切って乾燥させてから油で揚げ、砂糖、しょう油、みりんを煮立たせて、油を切った餅をからめて冷ますとできあがり。美味しかったです。でも食べ過ぎると太りますよ。  
(尾花沢市 おちゃめちゃん)

小さい時に、おもちがのどにつつかえてはげました。  
(村山市 すーちゃん)

重ね餅は、今はスーパーで売っていますが、私が物心ついた頃は、両親が白でついた餅を、親子三代で役割分担して30個くらい手作りしたものです。今も一人二役くらいでやっていますが、ちよっと寂しい。  
(村山市 ハクチョウのヌマちゃん)

**JAみちのく村山 シンボルマークをさがせ！**

どこかのページに「みちのく村山」シンボルマークが隠れています！  
◎答えは次号！

※先月号の答えは15ページの広告と広告の間でした。

◆ 次回のテーマは…  
◆ 私の仕事・役目は○○です！  
11月23日は勤労感謝の日。皆さんは、どんなお仕事・作業・役目を請け負っていますか？会社でのお仕事から農作業・家事のお手伝いまで、「私の役目」をハガキなどでお寄せ下さい。

グラウンド・ゴルフで暮点に行った時、コース脇で栗の実を2粒拾いました。稲刈りの時期ですね。「黄金色、スズメにちよつとおすそわけ」。  
(村山市 村山のゴン丸さん)

パズルを解いて、さあ応募！

図書カードが当たります！  
みちのくぼいす「テーマ大賞」………1名  
クロスワードパズル正解者の中から………5名

- ◆ 応募のきまり
  - ・応募は1人につき1回有効です。
  - ・紙面の都合により「みちのくぼいす」に掲載されないこともあります。
  - ・「みちのくぼいす」に掲載されない場合も、パズルは抽選対象になります。
  - ・当選発表を『ふれあい』11月号で行います。あらかじめご了承ください。
- ◆ 応募先
  - ・ハガキ…〔記入例〕をご参照ください。
  - ・電子メール…fureai@mitinoku.or.jp
  - ・FAX…0237-55-5825
- ◆ 応募締め切り 10月27日(土)
  - ※ 当日消印有効

**【ハガキ記入例】**

62 995-0011  
村山市橋岡北町  
JAみちのく村山 一丁目1番1号  
広報係 行

①パズルの答え  
②「みちのくぼいす」テーマなどに関する身近な話題、ご意見・ご感想  
③郵便番号・住所  
④氏名・ペンネーム  
⑤年齢  
⑥職業  
⑦電話番号

ペンネームを使用する方は、本名・ペンネーム両方とも記入して下さい  
住所の書き忘れにもご注意ください！

9月号の答え 「クリヒロイ」

1	キ	5	リ	7	ギ	13	リス	20	ボ
2	シ	シ	ヨ	14	キ	17	ソ	ク	A
	ユ		ウ	8	シ	11	ナ	シ	
		6	ヤ	ジ	15	ベ	エ		
3	ア	マ		12	ミ	ト		21	バ
4	ヒ	ト	ミ	9	ナ	ル	ト		
	ル		コ	10	ウ	ム	イ	ン	E

パズル正解者の中から厳正な抽選の結果、下記の5名の方が当選しました。おめでとうございます。

- ・すーちゃん(村山市大久保甲)
- ・若木良い子さん(村山市白鳥)
- ・あんぼたんむすめさん(尾花沢市原田)
- ・ここにゃんさん(大石田町大石田丙)
- ・高橋 淑子さん(大石田町横山)

↓ タテのカギ

- 1 武士が腰に差す物
- 3 パリやベルリン、バンコク、北京など
- 6 8は2の4——です
- 7 英語ではゼブラ。草食動物です
- 8 月が出ていなくて真っ暗です
- 10 タンスなどに加工する軽い木材
- 12 家族やごく近い人のこと
- 14 遠くて近きは男女の——
- 16 モミジとも呼ばれる木
- 18 10月は神無月、11月は——
- 20 ネタやシャリなどから作ります
- 22 このぶんしょうにはつかわれていません
- 23 ヒトコブ——やフタコブ——は砂漠で使われる動物

→ ヨコのカギ

- 1 アフリカの川や池にすむ動物。体も口も大きい
- 2 そろそろスタッドレス——に交換しようかな
- 3 まるで取り付く——もない様子だったよ
- 4 ——栽培はオーガニック農法とも呼ばれます
- 5 鳥籠の中に取り付ける棒
- 7 火事に備えて設置する物
- 9 音はこれで聞き取ります
- 11 落語を客に聞かせる職業
- 13 頭をひねって絞り出します
- 15 徳川將軍家は三つ葉葵(あおい)
- 17 机のこと。ライティング——
- 19 道が十字に交差している所
- 21 漢字では羊の歯と書く植物

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

クロスワードパズル

クロスワードを解いて、A～Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

1	6		11	14	18	22
		A				
2			8		15	
						B
			9	12		19
	7				16	
				E		
3			13			23
4			10		17	20
5						21
						C

尾花沢地区女性部よりお知らせ

尾花沢地区女性部50周年&貸衣裳事業45周年記念式典を開催します!

- ◆日時/平成30年12月9日(日) 午後12時30分
- ◆場所/尾花沢市文化体育施設サルナート コンベンションホール
- ◆その他/午後1時30分より、記念アトラクションを行います。

現在の女性部員の方も、過去に退会された方も、どなたでも参加可能!詳しくは、尾花沢宮農センター ☎22-2020(女性部担当・小玉)までお気軽にお問い合わせ下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

「産直でてん広場」収穫感謝祭

- ◆日時/11月16日(金) 午前9時~午後5時
- ◆場所/JAグリーンでてん店舗前

【事故等の場合には】JA共済事故受付センターまでご連絡ください。

☎0120-258-931 24時間 365日受付

【レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には】JA共済サポートセンターまでご連絡ください。

☎0120-063-931 24時間 365日受付

新型除雪機 早期予約受付中!!



お問い合わせは みのくサービス各農機センターまでご連絡ください。

お問い合わせ先: 村山農機センター ☎0237-55-6130  
尾花沢農機センター ☎0237-22-0088  
大石田農機営業所 ☎0237-35-3793

JAグリーン全店舗の営業時間が、下記の通り変わります。前もってお確かめ下さい。

- ◆期間:平成30年11月1日(木)~平成31年3月中旬
- ◆営業時間:午前8時30分~午後5時

JAグリーン 営業時間変更のお知らせ

秋のイベント お見逃しなく!

（株）みのくサービス秋の収穫感謝祭

【村山中央SS】  
◆日時/10月26日(金)午前7時30分~午後6時30分  
27日(土)午前8時~午後6時

【村山農機車両センター、LPGセンター】  
◆日時/10月27日(土)・28日(日)  
午前10時~午後5時

【尾花沢農機車両センター、LPGセンター】  
◆日時/10月27日(土)・28日(日)  
午前10時~午後5時

◆場所/JAグリーンおばなざわ前

【尾花沢中央SS】  
◆日時/10月26日(金)~28日(日)  
午前7時~午後9時

【福原SS】  
◆日時/10月26日(金)~28日(日)  
午前7時~午後7時

【大石田中央SS】  
◆日時/10月27日(土) 午前7時~午後7時  
28日(日) 午前8時~午後7時

道の駅尾花沢「ねまる」収穫感謝祭

◆日時/10月20日(土)・21日(日) 午前9時~午後6時  
27日(土)・28日(日) 午前9時~午後6時

大石田収穫感謝祭

◆日時/11月3日(土・祝) 午前9時~午後3時  
◆場所/JAグリーンおおいしだ特設会場

ふるさとフェア村山

◆日時/11月3日(土・祝) 午前10時~午後1時  
◆場所/JAみちのく村山本店

尾花沢 秋の収穫感謝祭

◆日付/10月27日(土)  
10月28日(日)  
◆場所/JAグリーンおばなざわ前

ジュエリーフェア・紳士服展示会

【村山】  
◆日時/11月16日(金) 午前10時~午後6時  
17日(土) 午前10時~午後4時  
◆場所/JAみちのく村山本店3階ホール

【尾花沢】  
◆日時/11月30日(金) 午前10時~午後7時  
12月1日(土) 午前10時~午後5時  
◆場所/尾花沢宮農センター3階

廃プラ&不要農薬と農薬空容器回収の日程

廃プラ回収

	対象地区	回収日	時間	場所
村山	大倉・西郷・葉山・大高根・戸沢	10月18日(木)	午前9時~正午 (受付は午前11時まで)	楯岡向原緑地公園
	楯岡・袖崎	10月19日(金)	午前9時~正午 (受付は午前11時まで)	楯岡向原緑地公園
尾花沢	全地区	10月16日(火)・10月17日(水)	午前8時30分~11時30分	東部すいか選果施設前
	全地区	10月23日(火)・10月24日(水)	午前8時30分~11時30分	東部すいか選果施設前
	全地区	11月8日(木)	午前8時30分~11時30分	東部すいか選果施設前
大石田	豊田・海谷	11月6日(火)	午前8時~10時	西部すいか選果施設前
	大石田・横山	11月7日(水)	午前8時~10時	西部すいか選果施設前

不要農薬と農薬空容器の回収

	回収日	時間	場所
村山	11月21日(水)	午前9時~11時	葉山事務所(旧葉山支店)
尾花沢	11月8日(木)・11月9日(金)	午前9時~11時	東部すいか選果施設前
大石田	11月3日(土)	午前9時~11時	グリーンおおいしだ前駐車場

《廃棄料金=150円/1kg(税別)》

- ・1kg未満でも1kgと計算します。
- ・支払いは現金または貯金振替です。
- ・一部、水銀剤等の特別管理農薬は、実費にて別途料金がかかります。

詳しくは各経済事業所までお問い合わせ下さい。

シニア世代の アクティブ生活をおいしくサポート!

組合員の皆様へ

さわやかで香り高い 山形県産ラ・フランス果汁使用

2~4:水  
1:原液「毎日おいしくグルコサミン」

召し上がり方  
1日30ml(大さじ2)を目安に、お好みにあわせて3~5倍にうすめてお飲みください。

Kyoyaku 毎日おいしく **グルコサミン**

お好みで うすめて飲む 500ml(約16日分) **1,800円(税抜)**

(原材料名) 西洋なし果汁(ラ・フランス)、果糖ぶどう糖液糖、エリスリトール、精製ハチミツ、リンゴ酢、N-アセチルグルコサミン(えび、かにを含む)、メチルスルフォニルメタン、サメ軟骨抽出物(コンドロイチン硫酸含有)/クエン酸、香料 (アレルギー) えび、かに

- ◆村山経済事業所 ☎0237-52-4160
- ◆尾花沢経済事業所 ☎0237-22-1310
- ◆大石田経済事業所 ☎0237-35-3133

2018年度 JAみちのく村山 歌謡ショー

きらめく七色の歌世界へと誘う

**市川由紀乃**  
歌謡ショーと  
名旅館 たちばなや 2日間

旅行日時 平成31年 1月24日(木)~25日(金)

JAみちのく村山 発着

◆旅行代金/29,800円(大人お1人様)

※3名様1室利用追加代金:1,500円  
※2名様1室利用追加代金:3,000円

◆募集人員/100名様(最少催行人員80名様)

- ◆お食事/朝1回、昼2回、夕1回
- ◆添乗員/全行程同行します(バス複数台に1名)
- ◆利用ホテル/あつみ温泉 たちばなや (和室4~5名様1室利用)

◆申込締切日/平成30年10月31日(水)  
※定員になり次第締め切らせていただきます。

詳しくは旅行センターまで ☎0237-55-6314